

事業概要書

予算科目	款	3	項	1	目	1	中事業名	定額減税補足給付金事業(不足額給付)
事業名等	定額減税補足給付金事業(不足額給付)						予算計上額	261,338 千円
概要	デフレ完全脱却のための総合経済対策の一環として、昨年度実施した定額減税補足給付金の対象者について、所得税額を推計値(令和5年分所得税額)で算定していたため、令和6年分所得の確定後に令和6年分所得税額を用いて本来の給付額を算定し、給付した額に不足額が生じた者に対して、その差額分を現金にて給付する。また、これまで実施してきた物価高騰対策による低所得世帯向け給付及び定額減税のどちらにも該当しなかった者に対して一律4万円を給付する。 【対象者】 (共通事項) ・令和7年1月1日時点で志摩市に住所を有する者(志摩市の住民基本台帳に記録されていないが、地方税法(昭和25 年法律第226 号)の規定による道府県民税所得割又は市町村民税所得割(以下「個人住民税所得割」という。)が課される者等を含む。) ただし、所得税法(昭和40 年法律第33 号)上の非居住者並びに令和6年分所得税に係る合計所得金額及び令和6年度分個人住民税所得割に係る合計所得金額が1,805万円を超える者を除く。 (不足額給付Ⅰ) ・当初の給付額が、令和6年分所得税等の確定により算定した給付額を下回った者 (不足額給付Ⅱ) ①～③の全てを満たす者(R6.1.1時点で国外居住者であった場合は3万円) ① 所得税および個人住民税所得割ともに定額減税前税額がゼロであること (本人として定額減税の対象外であること) ② 税制度上、「扶養親族」の対象外である者(青色事業専従者・事業専従者(白色)、合計所得金額48万円超の者など)(扶養親族等として定額減税の対象外であること) ③ 低所得世帯向け給付(R5非課税給付等、R6非課税化給付等)対象世帯の世帯主・世帯員に該当しなかった者 【予算内訳】・・・給付金、事務費については全額交付金措置 ○対象見込人数 7,000人(内訳:不足額給付Ⅰ 5,200人、不足額給付Ⅱ 1,800人) ○給付金見込額 245,000千円 ○事務費 16,338千円 【内訳】 時間外勤務手当:112千円 消耗品費:30千円 通信運搬費:198千円 手数料:814千円 委託料:14,964千円(給付対象抽出業務等委託、給付申請窓口業務等委託) 借上料:220千円							
目的	物価高騰の影響を受ける市民の生活を支援することで、経済的安定と安心の確保を図ることを目的とする。							
必要性	物価高騰の影響を受ける市民に対し、その生活を支援する必要がある。							
計画	令和7年度							
実施期間	令和7年 8月中旬:対象世帯に案内通知等を発送 令和7年 8月下旬:対象世帯への給付を開始 令和7年10月31日:申請締め切り 令和7年12月26日:事業終了							
効果	物価高騰による家計への影響緩和が期待できる。							
SDGs 関連項目	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナースhipで目標を達成しよう							

事業概要書

予算科目	款	9	項	5	目	4	中事業名	阿児アリーナ管理運営費	
事業名等	阿児アリーナ管理運営費							予算計上額	10,938 千円
概要	令和7年11月開催の第44回全国豊かな海づくり大会に備えるとともに、大会終了後も、阿児アリーナを安全・安心に利用できるよう、施設修繕等を行う。 補正要求額合計 10,938千円 【内訳】 ・施設修繕料 5,112千円 ・清掃業務委託料 4,626千円 ・環境整備業務委託料 1,200千円 【主な修繕等内容】 ○需用費（施設修繕料） - インターロッキング修繕 1,320千円 - 中庭段差解消スロープ 600千円 - 控室前トイレ修繕 600千円 【主な委託内容】 ○委託料 - 樹木剪定 900千円 - 外壁清掃 1,395千円								
目的	阿児アリーナを全国豊かな海づくり大会式典会場として備えるとともに、大会終了後も継続的かつ安全・安心に施設利用できるようにするため。								
必要性	6月補正に係る議案提出後、県等と式典会場の確認をするなかで、新たな修繕等の箇所が判明した。 新たに判明した箇所については、来賓の動線となる箇所である。そのため、緊急に修繕や清掃及び環境整備を行い、全国豊かな海づくり大会に全力で備えることとする。 また、大会後も、阿児アリーナを安全・安心に利用できるよう、施設の修繕を行う必要がある。								
計画	令和7年7月 発注 令和7年9月 完成								
実施期間	令和7年度								
効果	①施設修繕等を実施することで、全国豊かな海づくり大会式典会場として備えることができる。 ②全国豊かな海づくり大会後も、阿児アリーナを安全・安心に利用することができる。								
SDGs 関連項目	4 質の高い教育をみんなに 11住み続けられるまちづくりを 17パートナーシップで目標を達成しよう								